

ハワイ・ホノルルマラソンの旅

9日間 行動計画書

翔峰 エンジョイ エコツアー

旅行期間

2016年12月6日(火) ～ 2016年12月14日(水)

呼びかけ人 ぎふ長良川走ろう会・フル百回楽走会 武藤 彰
(世界8大陸フルマラソン、世界6大メジャーマラソン制覇)



変更履歴

28.11.23 発行

ハワイ・ホノルルマラソンとオアフ島の旅

28.11.23 発行

1、2016.12.6 (火)

名鉄岐阜駅の場合 名鉄岐阜 10時32分発 ⇒ 中部国際空港駅着 11:36

自宅 9時45分 ⇒ 竹鼻駅10時14分 笠松駅着発 10:29 10:37 ⇒ 中部国際空港駅着 11:36

名鉄線が正常に運行されているかどうか確認すること。事故など遅延の場合は、余裕を持って行動のこと。

最終集合時間：中部国際空港 国際線3階出発ロビーAカウンター
大韓航空チェックインカウンター 12:00

チェックイン 預託手荷物 *23kg 以下 各辺の合計寸法が158cm 以下、
客室内持込手荷物 1個、合計12kg まで それぞれの手荷物の合計寸法が115cm 以下

大韓航空 KE742 中部国際空港 14:30 ⇒ 韓国 インチョン空港 16:40 着

大韓航空 KE53 韓国 インチョン空港発 21:00 ⇒ ホノルル着 09:50+

2、2016.12.6 (火) ホノルル時差 19時間遅らせる(日本時間 -19時間)

大韓航空 KE53 韓国 インチョン空港発 21:00 ⇒ ホノルル着 09:50

シャトルバスで HI Waikiki ユースホステルに行く

HI Waikiki Youth Hostel 泊

2417 Prince Edward St, Honolulu Hawaii 96815

Tel. 1-808-926 8313 Fax. 1-808-922 3798 waikiki@hiusa.org



チェックインは3時なので、荷物をYHに預け、近所を散歩、ウォーキングして付近の地理を憶える。
キングスビレッジショッピングセンター、レストラン、コンビニ(ABCストア)など偵察、憶えておく。

夕食は近所のレストラン 餃子の王将で 18:00 ~ 結団式パーティ YH 支払い 3096.72\$ (341,000円)

3、2016.12.7 (水) 自由行動、 武藤：ハナウマ湾、観光

朝食は、毎回YHで日本から持参した朝食を食べます。4-5日分は自分の好きな日本食を日本で買って持っていきましょう。なくなれば、近所のスーパーで買えます。

起床 06:30 起床 07:00 ~ 朝食、出発準備

YH 出発 8:00 ⇒ バス停までのスーパー、ABCストアで今日の昼食、飲み物を買う。 ⇒
カラカウアベニューに行くが途中22番バスに乗れるようなら、Kalakaua Av / Opp Seaside Av で乗る。
(満員で乗れない場合、始発のゲートウェイホテルまで行く。) ワイキキ・ゲートウェイホテル東側

出発 9:03、9:41 バス22番 2.50\$ ⇒

乗車するときに2.5ドル渡し、“トランスファー、プリーズ”と言って乗換券をもらう。貰ったら“サンキュウ”も

ハナウマ湾バス停着 9:36、10:14 Hanauma Bay Parking Lot 下車

11:00 ~ ハナウマ湾 滞在・泳ぐ・シュノーケリング・昼食 ~ 15:00

⇒ 15:33、16:09 バス22番 2.50\$ ハナウマ湾バス停発

乗車するときに乗換券を渡す。ダメなら2.5ドル ⇒ 16:15、16:51 Kuhio Ave / Kaiulani Ave 下車

YHに近いバス停、Kuhio. av/Kaiulani. avで下車

夕食 近所に出る路上マーケットやABCストアでチャーハン、焼きそば、餃子、串焼き肉、サラダ、

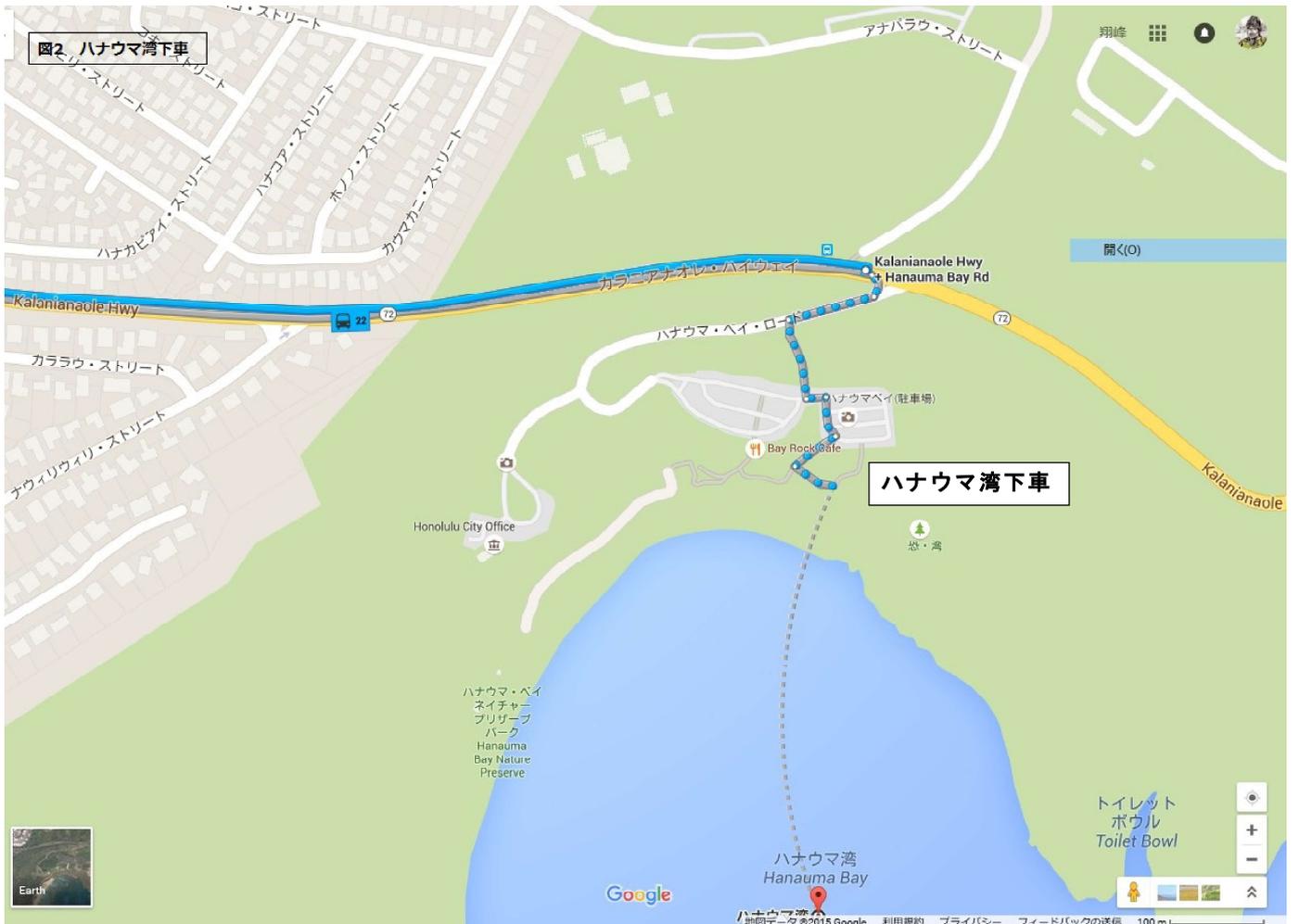
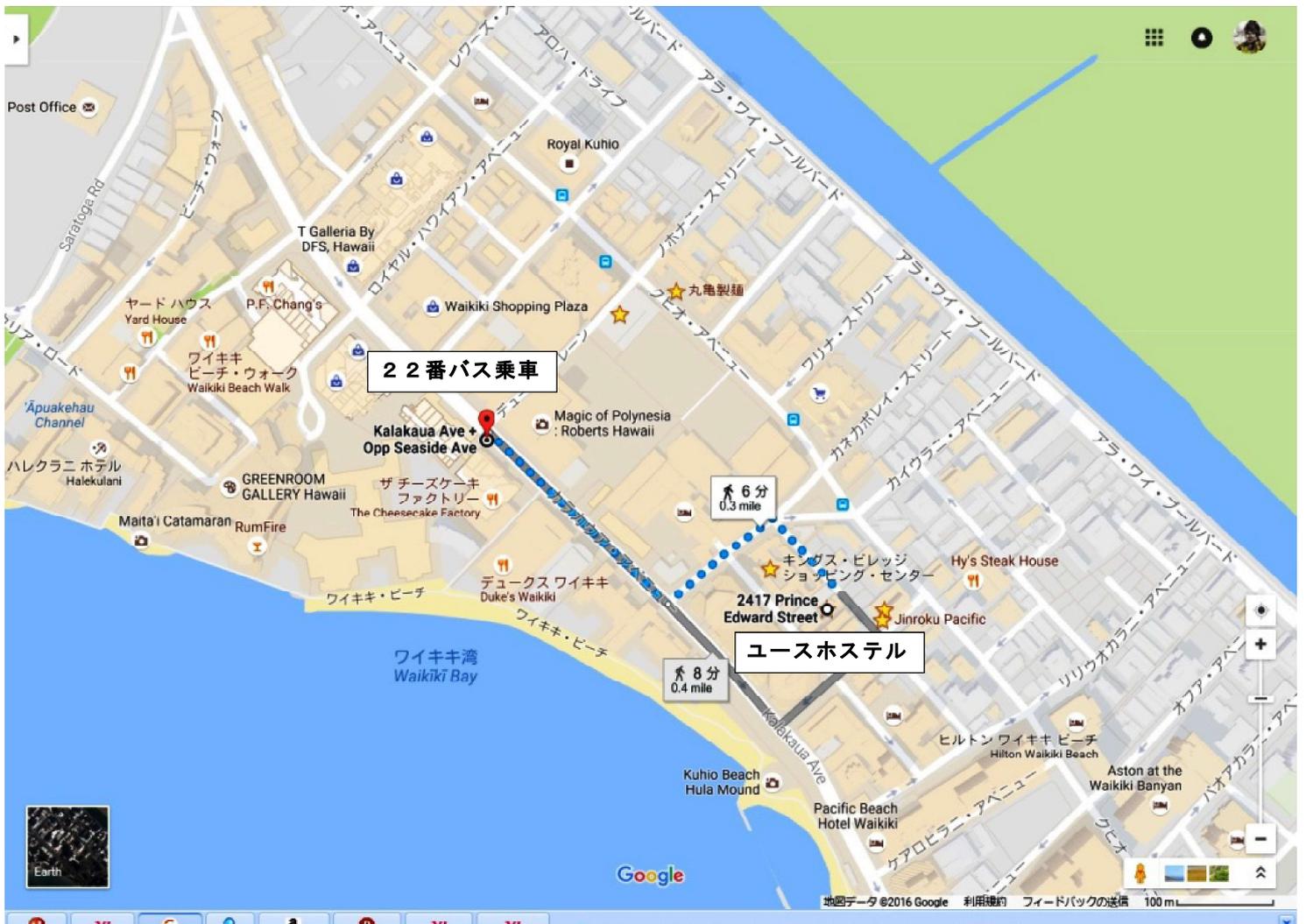
その他自分の好きなものを買って、YHで食べる。(自炊)

夕食後、ワイキキビーチ、カピオラニ公園でサンセットを眺める

ハナウマ湾 魅惑の海洋保護公園

オアフ島のハイライトが、このハナウマ湾。映画「ブルー・ハワイ」は、ここで撮影された。ゆるやかにカーブを描く美しいピー東海洋保護区に指定されているので魚たちは人間を怖がら尻背ビレが見えるほどの波打ち際で泳いでいる。水中マスクとシュノーケルがあれば、さまざまなトロピカルフィッシュを観察することができる。

ハナウマ湾海洋教育センターで教育ビデオを鑑賞しよう。



4、2016.12.08 (木) 午前中 ゼッケン受け取り 午後：自由 武藤：マノア渓谷トレッキング

・朝6時起床

・6:00~6:45 モーニングラン&ストレッチング カピオラニ公園をラン、ゴールから帰る(帰り道覚える)

・7:00~8:00 YHにて朝食 8:00 YH出発 9:00~11:00 マラソンエキスポ

JCBカードでピンクトロリーバス乗車無料となるがピンクトロリーバスの始発は9:00なのでバスで行きます。

Kuhio Ave + Kaiulani Ave 8:30 1番、13番、2番に乗車 ⇒ Kalakaua Ave + Kapiolani Bl 下車トランスファ貰う 歩いて2分ハワイ・コンベンションセンターに行く

ハワイ・コンベンションセンター1階にて、ホノルルマラソン・エキスポが開催されます。

大会記念グッズの販売をはじめ、健康やスポーツ関連のブースも多数出展の予定(入場無料)。

ナンバーカードを受け取ります。12月08日(木):午前9時~午後5時 開催

マラソンエキスポ10:30 終了 写真撮影 アラモアナセンターで昼食 11:15までにランチ終了

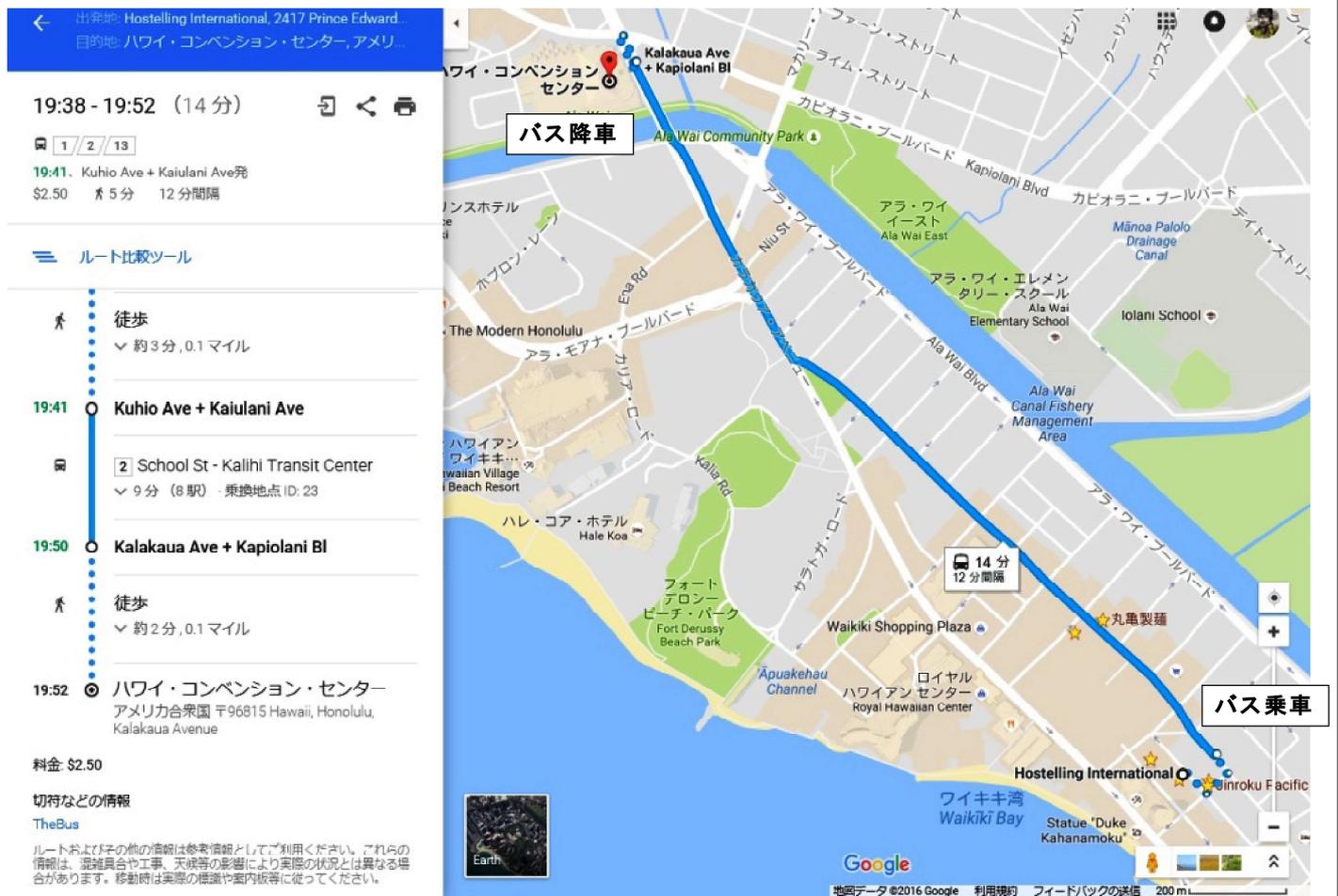
マノア渓谷行き 5番バス 乗車 Kona.st / Keeaumoku.st 11:50 12:45 トランスファー渡す、駄目なら2.5\$ トランスファー貰う ⇒ マノア渓谷 Manoa Kumuone 12:13 13:08

渓谷入口からトレッキングコース 片道30~40分、距離1.3キロの先には、雄大なマノアの滝が待っています。写真撮影など余裕見て、片道1時間、往復2時間 みておく。

帰り マノア渓谷バス停 Manoa Kumuone 15:11 16:16 トランスファー渡す、駄目なら2.5\$ ⇒ 15:41 16:46 アラモアナセンター

アラモアナセンター ピンクのトロリーバス乗車 17:00 ~ デューク・カハナモク像 17:30

*夕食 マーケット、ABCストアなどで買い物してYHで食べる
ワイキキビーチ、カピオラニ公園でサンセットを眺める



Kona St + Opp Keeaumoku St (FS), アラモアナセンター

出発時刻 オプションを表示

6:44 12月8日(木)

この地域の時刻表は最新ではありません。

ルートをモバイル端末に送信

6:49 (木曜日) - 7:11	22分
6:52, Kuhio Ave + Kaiulani Ave発 \$2.50 徒歩6分	
6:52 (木曜日) - 7:16	24分
6:52 (木曜日) - 7:16	24分
7:05 (木曜日) - 7:27	22分



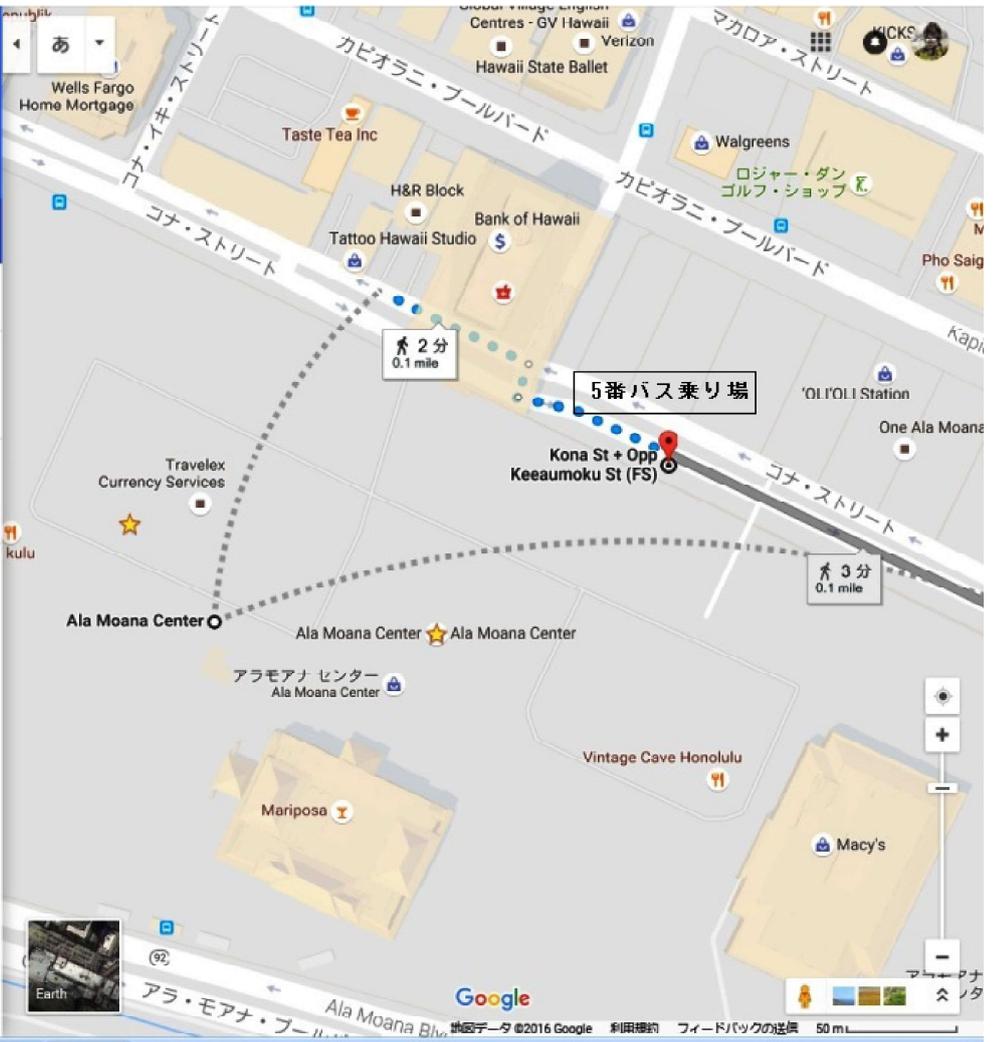
Ala Moana Center, Honolulu, HI 96814

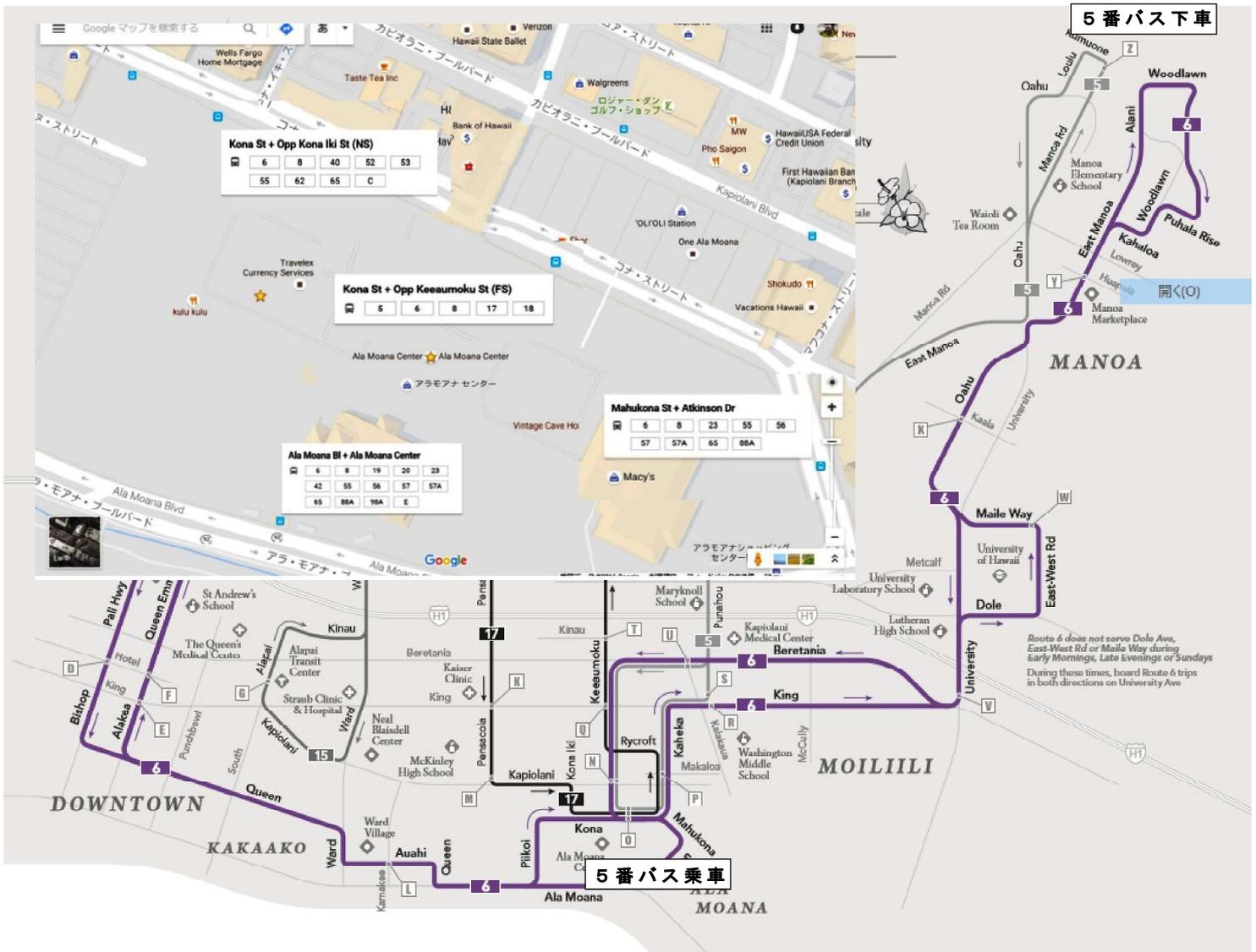
Kona St + Opp Keeaumoku St (FS), アラモアナセンター

オプションを表示

ルートをモバイル端末に送信

via Kona St	2分	0.1マイル
via Mahukona St	3分	0.1マイル





ROUTE 5 ALA MOANA - MANOA Effective 5/26/13

WEEKDAY: Eastbound to Manoa
 Eastbound Destination Sign: 5 MANOA

WEEKDAY: Westbound to Ala Moana Center
 Westbound Destination Sign: 5 ALA MOANA CENTER

O	P	S	Z
Ala Moana Ctr Kona/Keeaumoku (#760)	Kaheka Makaloa (#849)	King Punahou (#3239)	Manoa Kumuone (#3266)
.....	536a	550a
612a	615a	618a	632a
635a	638a	641a	655a
657a	700a	703a	718a
728a	732a	736a	754a
755a	759a	803a	821a
900a	904a	908a	925a
1000a	1004a	1007a	1023a
1055a	1059a	1102a	1118a
1150a	1154a	1157a	1213p
1245p	1249p	1252p	108p
140p	144p	147p	203p
235p	239p	242p	258p
341p	345p	349p	407p
446p	450p	454p	512p
551p	555p	559p	616p
650p	654p	657p	711p
740p	743p	746p	800p
830p	833p	836p	850p
920p	923p	926p	940p

Z	U	N	O
Manoa Kumuone (#3266)	Beretania Kalakaua (#38)	Keeaumoku Kapiolani (#821)	Ala Moana Ctr Kona/Keeaumoku (#760)
550a	603a	607a	612a
635a	648a	652a	657a
700a	715a	722a	728a
725a	742a	749a	755a
800a	817a	824a	830a
830a	847a	854a	900a
935a	950a	955a	1000a
1030a	1045a	1050a	1055a
1125a	1140a	1145a	1150a
1220p	1235p	1240p	1245p
115p	130p	135p	140p
210p	225p	230p	235p
311p	328p	335p	341p
416p	433p	440p	446p
521p	538p	545p	551p
625p	640p	645p	650p
718p	731p	735p	740p
808p	821p	825p	830p
858p	911p	915p	920p
940p	953p	957p	1002p

Route 5 Symbols

n - Ends at Oahu Ave/Lowrey Ave 4 minutes later.

← 出発地: Kona St + Opp Keeaumoku St (FS)
目的地: Na Ala Hele: Manoa Falls Trail, Honolulu, HI 9...

5:19 - 6:15 (56分)

徒歩 > 5 > 徒歩
5:36、Punahou St + S King St 発
\$2.50 徒歩 42分

ルート比較ツール

5:19 ○ Kona St + Opp Keeaumoku St (FS)

徒歩
約 17分, 0.8 マイル

5:36 ○ Punahou St + S King St

5 Manoa Valley
約 14分 (27 駅) 乗換地点 ID: 3239

5:50 ○ Manoa Rd + Opp Kumuone St

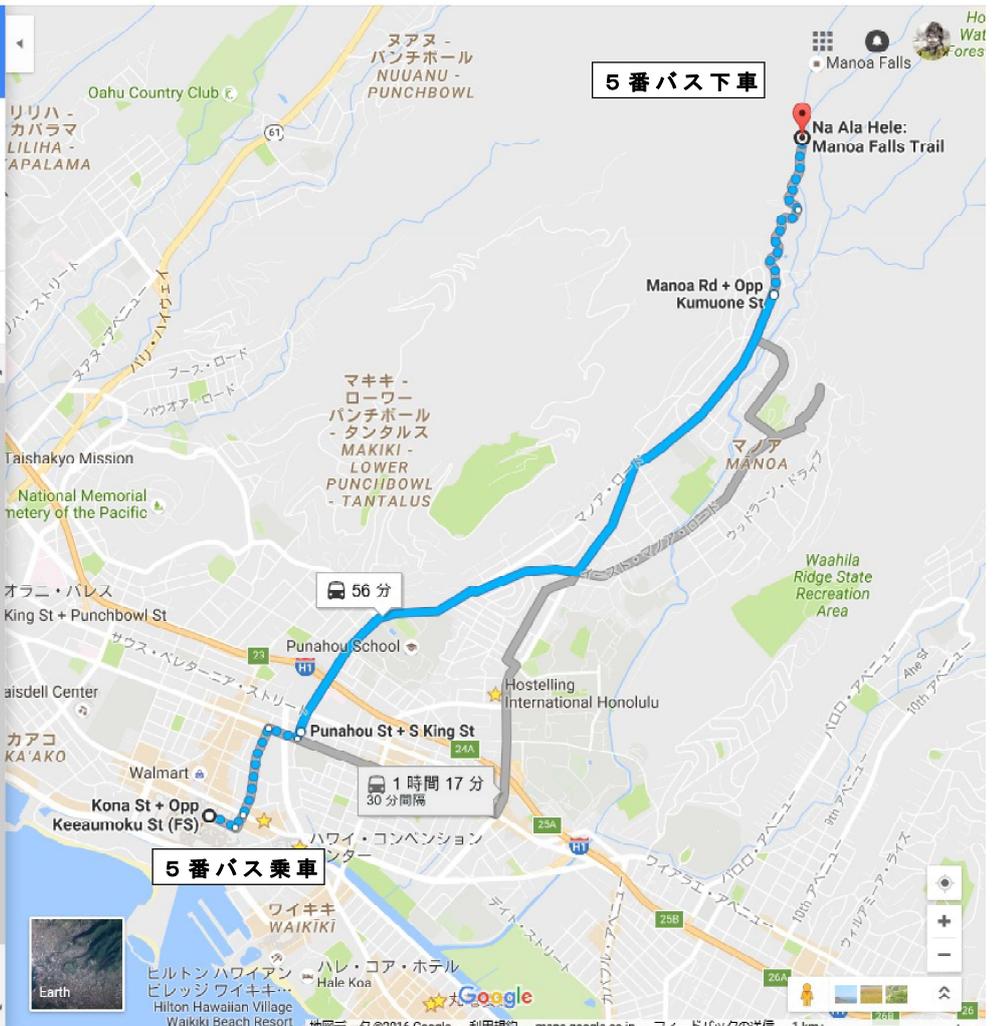
徒歩
約 25分, 0.9 マイル

6:15 ● Na Ala Hele: Manoa Falls Trail
Honolulu, HI 96822

料金 \$2.50

切符などの情報

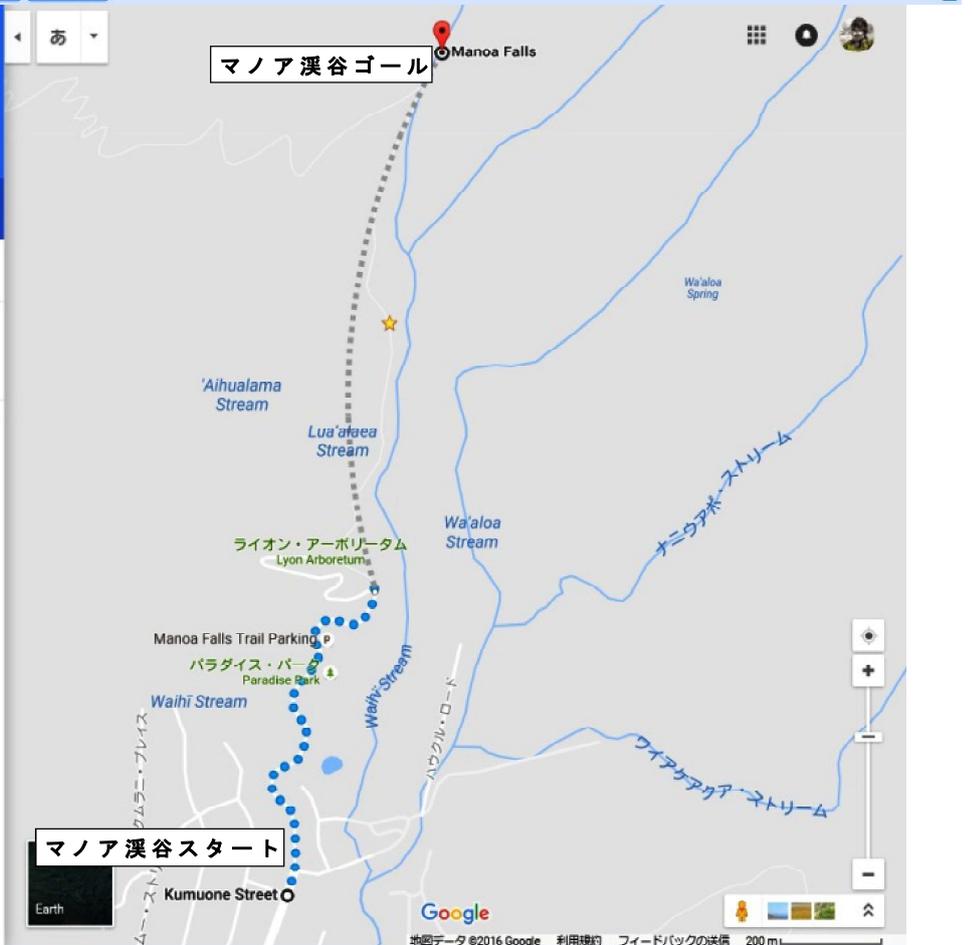
TheBus



[JWord](#)
[Yahoo!](#)
[Google](#)
[Bing](#)
[amazon](#)
[楽天市場](#)
[Yahoo!ショッピング](#)
[ヤフオク!](#)
[デスクトップからクリック簡単検索! E STARTデスクトップバー \(無料\)](#)

検索履歴:
 eet, Honolulu, HI 96822 アメリカ合衆国
 Manoa Falls, 37 Manoa Rd, Honolulu, HI
 すぐに出発 オプションを表示

ルートをモバイル端末に送信
 via Manoa Rd 12分
 詳細 0.5 マイル



5、2016.12.11 (金) 1日 自由行動 武藤：ザバスでオアフ島一周に出かけます。 生駒さん、今日 到着

<http://www.aloha-street.com/magazine/2011/07/250.html>

・朝5時30分起床

・5:30~6:30 YHにて朝食 6:30 YH出発

13番バス 乗車 6:49 Kuhio Ave + Kaiulani Ave ⇒ 7:08下車 Kapiolani Bl + Keeaumoku St ⇒
歩く Kona St. + Opp Keeaumoku St (NS) 7:11 乗車時 トランスファー貰う

①、アラモアナセンターから出発 7:35 AM

52番バス 7:35、8:05 KonaSt + Opp Kona IkiSt (NS) ⇒9:00、9:30 Kamehameha Hwy + Dole Plantation

始発はアラモアナセンターの山側。まずは52番「Mililani-Haleiwa」のバスに乗り込み、ハレイワを目指します。バスはセンター海側バス停も通りますが、始発の山側から乗って座席を確保するのが長旅のポイントです。

Kona St + Opp Keeaumoku St (FS), アメ

出発時刻 オプションを表示
7:04 12月8日(木)

この地域の時刻表は最新ではありません。

ルートをモバイル端末に送信

7:05 (木曜日) - 7:27	22分
7:08、Kuhio Ave + Kaiulani Ave発 \$2.50 乗 6分	
7:11 (木曜日) - 7:36	25分
7:21 (木曜日) - 7:43	22分
7:13 (木曜日) - 7:40	27分

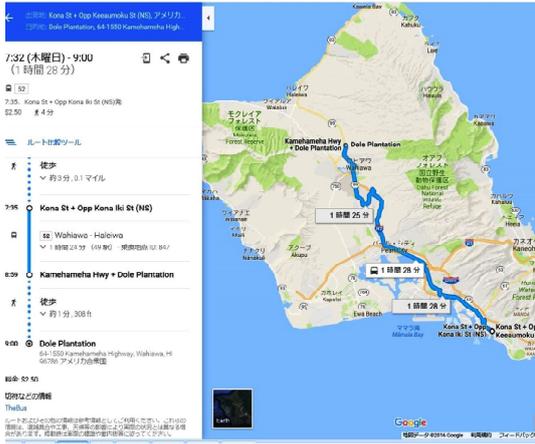
ルート比較ツール



②、ドール・プランテーションでひと休み 9:00AM

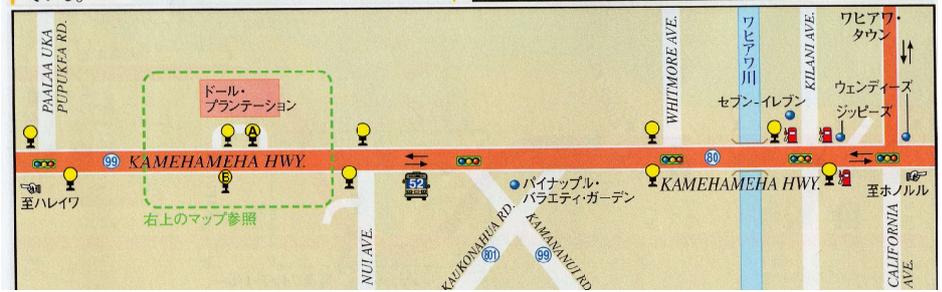
世界有数の食品会社ドールが経営するパイナップル農園。敷地内には、広大な畑を蒸気機関車でめぐりながらパイナップルについての話を聴き、ハワイの植物を見学することができる「パイナップル・エクスプレス」のほか、ギネスにも認定された世界最大の巨大迷路などが楽しめる。甘酸っぱいパイナップル・ソフトは必ずドールで食べたい味！

降り場：ドール・プランテーション／アラモアナから約90分



降車のタイミング

アラモアナからの所要時間は約1時間20分から1時間30分。これといった目印がなく、降りそこねると距離があって大変なので、ドライバーにあらかじめ頼んでおくのが確実。ワヒアワの町を過ぎたら、降車の準備を。写真の橋(ワヒアワ川)を渡ったら、3番目の停留所が目的地となる。最初はウィットモア通りとの交差点(信号あり)にある停留所、3本の道路が交差するトライアングルにある小さな畑、パイナップル・バラエティ・ガーデンを過ぎ、2番目はボアモホ・キャンプという集落のヌイ通りとの交差点(この停留所がわかりにくい)。右側にドール・プランテーションのビジターセンターが見えたら、すでにバス停(A)を通り過ぎてしまっている。

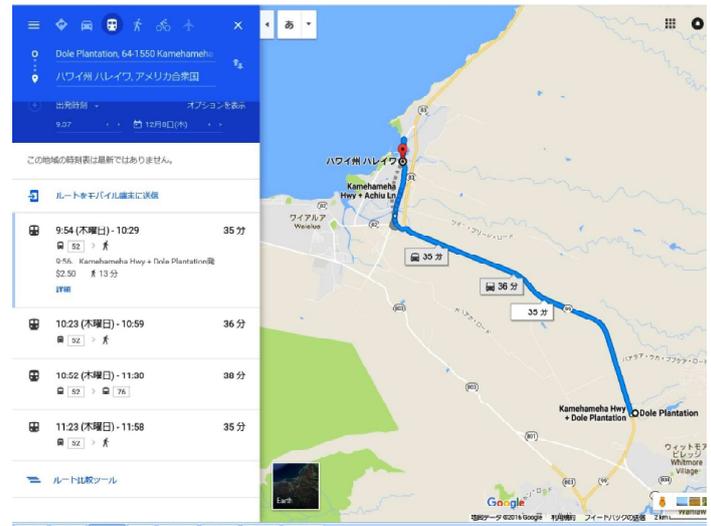


③、ハレイワタウンを散策・ランチ 10:30AM

ローカルハワイの代表、ハレイワに到着！ ロコに人気のショップで買い物をしたり、名物のシェイブアイスの行列に並んでみたり。また、有名なシュリンプのプレートランチやメキシカンランチにいかが？ 1時間ほど遊んだら、次のポイントへゴー！ ここでランチを食べましょう。

降り場：カメハメハ・ハイウェイ沿い各所 / ドール・プランテーションから約25分

- 52 番バス 9:54、10:23 Kamehameha Hwy + Dole Plantation ⇒
- 10:29、10:59 Kamehameha Hwy + Achiu Ln

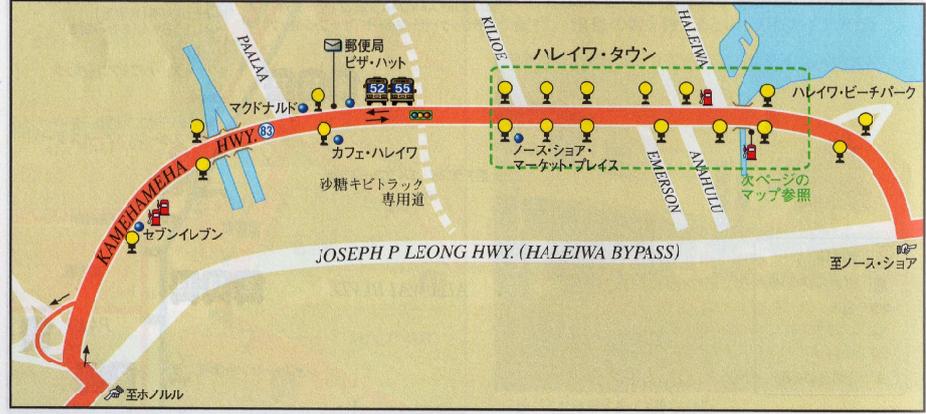


降車のタイミング

ドール・プランテーション(▶P.155)を通過し、両側に広がるパイナップル畑を眺めながら10分ほど走ると、前方にノース・ショアの海が見えてくる。バスはハレイワ・バイパスに入る直前に左折、しばらく行くとハレイワの町に到着だ。それほど大きな町ではないので、好みの停留所で降りればよい(▶次ページ)。アラモアナからの所要時間は約1時間30分から1時間45分。



右側にこの看板が見えたら、目的地はもうすぐ。バスはバイパスの入口を左折してハレイワへ向かう



④、ノースのサンセットビーチでのんびり 12:30AM

ハレイワから先（カフク方面）へ向かうには、
ハレイワ・ビーチ・パークで55番に乗り換えます。
タートルベイまでの海岸線は、有名ビーチの宝庫。
とくにバンザイ・パイプラインやサンセット・ビーチは
華麗に波乗りを楽しむサーファーの姿がいっぱい。
これぞノースの海！

降り場：海岸線ビーチ各所／ハレイワから15～20分

55番バス 12:08、12:54 Kamehameha Hwy + Weed Circle ⇒
12:34、13:20 Kamehameha Hwy + Sunset Beach Elemen



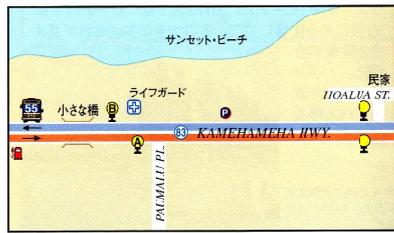
降車のタイミング

アラモアナからの所要時間は約2時間30分。ワイメア・ベイ・ビーチパーク（▶次ページ）を過ぎると、左側には世界的に有名なサーフポイントが続く。ただビーチ名が書かれた標識が出ているわけではないので、以下を目印にしてほしい。まず右側にサンセット・ビーチ小学校、次にガソリンスタンドと続き、すぐに小さな橋を渡ったところのバス停(A)が目的地。ガソリンスタンドを過ぎたら降車の合図を。

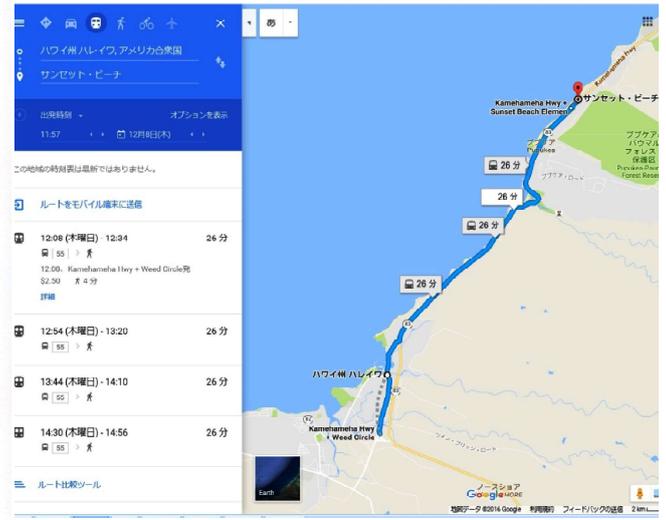
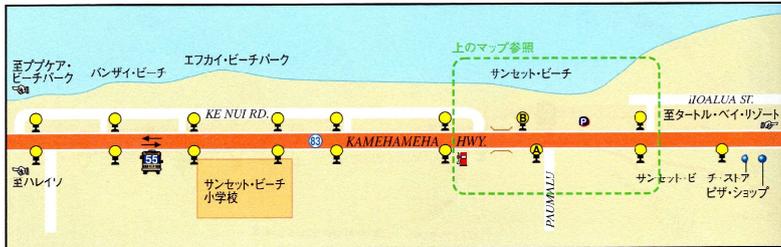


降車したバス乗客の様子。表示の55番に乗る。

ビーチ前にはいつもたくさんの車が路上駐車している



直前のガソリンスタンド



⑤、タートルベイでアフタヌーンティ 13:30AM

北の中継地、タートル・ベイ・リゾートで下車。広大な高級リゾートのカフェで、休憩しつつアフタヌーンティを。
ホテルからカートに乗っていくゴルフ場のカフェがおすすめ！

降り場：タートル・ベイ・リゾート／各ビーチから30～40分

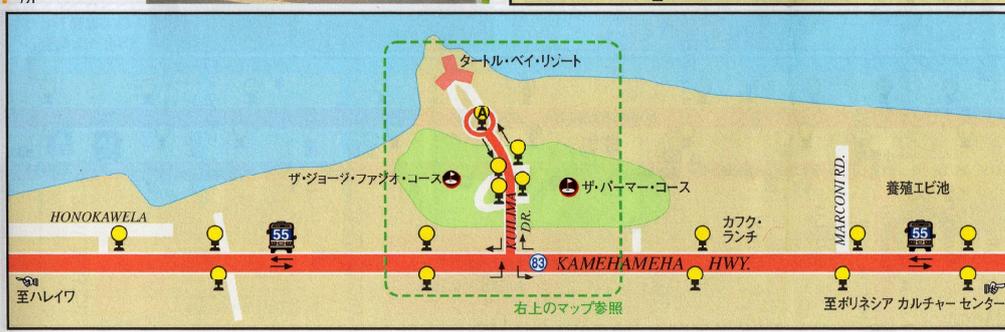
55番バス 13:16 14:06、14:52 Kamehameha Hwy + Sunset Beach Elemen ⇒
13:33 14:23、15:09 タートルベイリゾート Kamehameha Hwy + 57-146

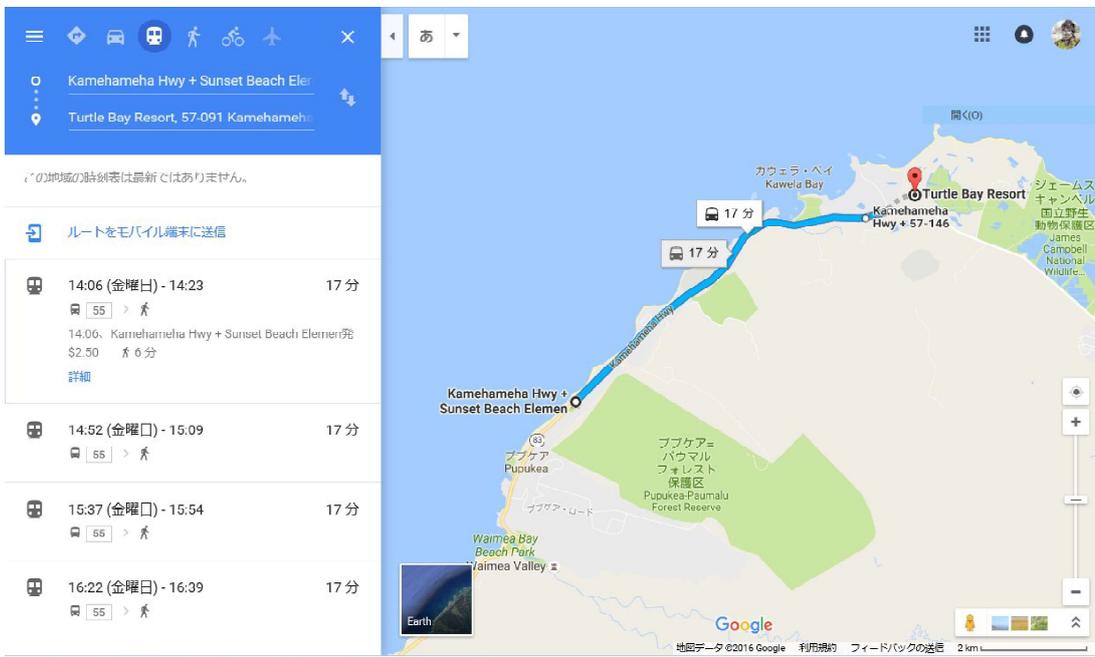
降車のタイミング

西行き、東行き、どちらも、カメハメハ・ハイウェイからゴルフ場が左右に広がる別荘地に入っていくので、まず間違えることはないだろう。乗車・降車ともバス停(A)。なおアラモアナからタートル・ベイまでの所要時間は、約2時間。距離があるだけに交通事情によって所要時間は異なる。



タートル・ベイ・リゾート内の停留所

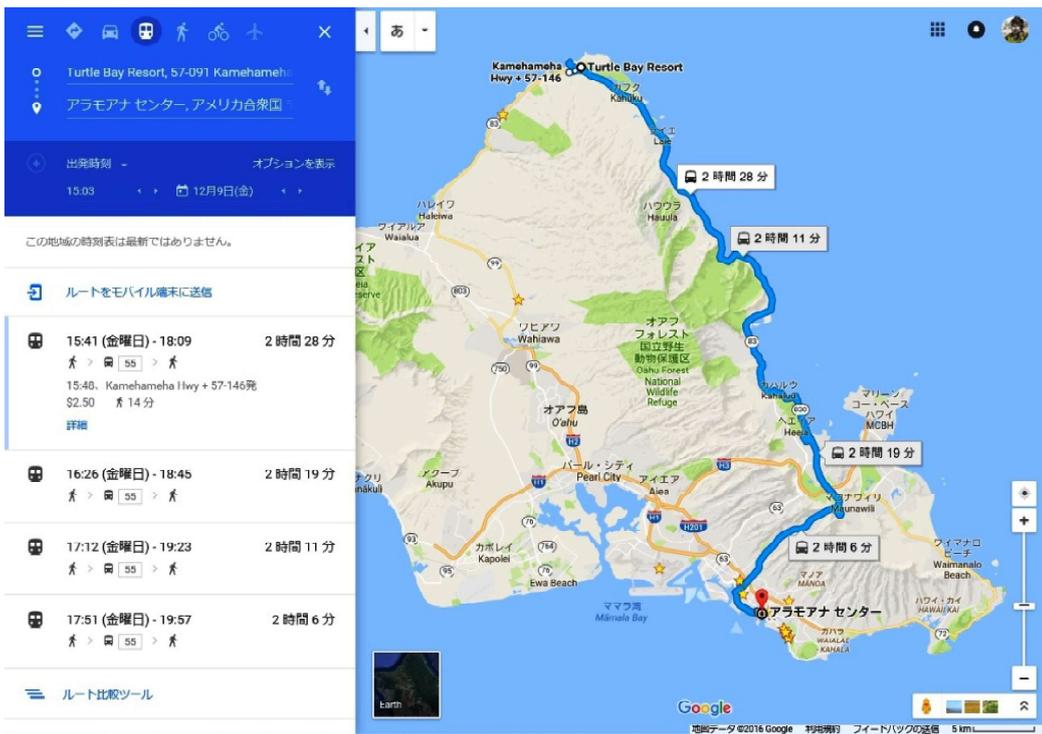




⑥、海岸線の景色にうっとり 14:30AM

ユーモラスな小島「チャイナマンズ・ハット」やカーテンのように迫り来るコオラウ山脈、どこまでも広がる太平洋…車窓からダイナミックなハワイを満喫！ なお終点のアラモアナまでは約120分ほどかかるので、タートル・ベイでトイレを済ませるのを忘れなく。

55番バス 14:10、14:56、15:41、16:21 タートルベイリゾート Kamehameha Hwy + 57-146 ⇒
16:36、17:22、18:09、18:45 アラモアナセンター



アラモアナセンター到着

アラモアナセンター到着時間によって、アラモアナセンターで外食するか、YHで外食するかする。帰りはピンクのトロリーバスで帰り、途中で降りて海岸線を夕日見ながら散歩でYHまで帰る。



6、2016.12.10（土） 自由行動、レース準備

- ・朝6時半起床
- ・7:00～8:00 モーニングラン&ストレッチング
- ・8:00～8:45 YHにて朝食

明日の朝食用、レース用お握りを作る人は作ったり、明日のレースの準備。時間余れば自由時間

*夕食： マーケット、ABCストアで買い物してYHで食べる
明日のレースに備えて早めに、7時ころに寝ましょう。

7、2016.12.11（日） 第44回ホノルルマラソン 5:00 スタート 制限時間なし

- ・朝2時起床、朝食
- ・2:40 YH Hostel、レースの服装で出発
- ・3:00 ホノルル動物園前到着、スタート地点行きシャトルバスの列に並ぶ
- ・3:30 ホノルル動物園前 スタート地点行きシャトルバス乗車
- ・4:00 スタート地点到着、スタート準備、写真撮影
- ・5:00 ホノルルマラソンスタート 健闘を祈ります。

ゴール後各自、自由にゴール地点で過ごし、歩いてYHに戻る。

夕食は **基六 パシフィック**で完走パーティーを行います。(お好み焼き、鉄板焼きなど)

近所の **基六 パシフィック 2427 Kuhio Ave, Honolulu, Oahu**

8、2016.12.12（月） 1日 自由行動

今日は1日、自由行動です。休養、ショッピング、ワイキキビーチでノンビリ過ごす・・・
など自由にお過ごしください。

起床後、希望者、昨日の完走証を受け取りに行きます。ハワイコンベンションセンター ピンクのトロリーバスで行きます。
夕食は、マーケット、コンビニなどで食糧、飲み物など買ってYHでさよならパーティーをしましょう。

9、2016.12.13（火）

- ・7時起床、朝食
- ・8:40 出発準備完了
- ・8:50 シャトルバス YH Hostel ⇒ 9:20 ホノルル国際空港

大韓航空 KE54 ホノルル空港発 11:45 ⇒ 韓国 インチョン空港着 17:40 +1

9、2016.12.14（水）

大韓航空 KE54 ホノルル空港発 11:45 ⇒ 韓国 インチョン空港着 17:40 +1

大韓航空 KE751 韓国 インチョン空港発 19:00 ⇒ 中部国際空港着 20:50

お疲れ様でした。自宅までお気をつけてお帰りください。

ハワイを走る路線バス、ザ・バス

オアフ島をめぐるホノルルの市営バスが「ザ・バス」。地元の人の足として活躍するこのバスは、どこまで乗っても2.50ドルとリーズナブル。観光に、ショッピングに、旅行者も上手に利用しましょう。

運賃は、距離に関係なく、大人2.50ドル、6～17歳1.25ドル。乗り換えは、2時間以内なら1回は無料です。観光やショッピングなどバスを頻りに利用するなら、ワイキキ、アラモアナのABCストア、セブンイレブンで販売している旅行者向け4日間乗り放題バスポート「オアフ・ディスカバリー・バスポート」（大人、子どもともに25ドル）がお得。

ワイキキに滞在する旅行者が最も利用する路線は、ワイキキとアラモアナセンターを循環する8番、歴史スポットが集まるダウンタウンを通る2番、人気のグルメタウン、カパフルを走る13番、ダイヤモンドヘッド経由でハナウマ湾やシーライフパークへ行く22・23番バスなど。ダウンタウンを経由する路線は朝4時台から、ほかの路線も6時台には運行を始めて、最終バスは22～24時。土・日曜は運行時間が短くなります。

また、カイルア、ノースショアなどホノルル郊外へ行く場合は、アラモアナセンターで乗り換えを。センターがホノルル最大のバスターミナルになっているので、ここを拠点にすれば、ほとんどの路線にアクセスが可能です。

乗車は前方ドアから。運賃は先払い制で、運転席横の料金箱へ。おつりはもらえないので、小銭の用意が必要です。乗り換える場合は、乗車時に「トランスファー・プリーズ」と言うと、2時間以内に1回だけ無料で乗り換えできるチケットを発行してくれます。

バスの停留場名 乗ったときに運転手に渡し次の駅になったら知らせてもらう

この停留場に来たら、知らせてください。

Let me know this bus stop.

この停留場で降ります。

I get off there.

ハナウマ湾バス停着

Hanauma Bay Parking Lot

ユースホステル前

Kuhio. av/Kaiulani. av

ゼッケンピックアップ

Kalakaua Ave + Kapiolani Bl

ドールプランテーション

Dole Plantation

ハレイワ

Haleiwa

サンセット・ビーチ

Sunset Beach

タートルベイリゾート

Turtle Bay Resort

アリゾナ記念館

Arizona Memorial Center

イオラニ宮殿

S King St./Punchbowl St.

ユースホステル前

Kuhio. av/Kaiulani. av

KING'S VILLAGE SHOPPING CENTER **KFCハワイ** **COUPON**

通常価格の3ピースミールから
1ドルOFF

税金が加算されます。期間限定オファーです。1回のご来店につきお1人様クーポン1枚限り有効。ハワイ州内の参加KFC店にてご利用いただけます。他の割引や特典との併用はできません。換金不可。
©2011 KFC Hawaii CPN #58



有効期限：2015年12月31日

KING'S VILLAGE SHOPPING CENTER **バーガーキング** **COUPON**

ワッパーバリューミール
お買い上げでワッパーを
もう1個進呈

ご注文の前にこのクーポンをご提示ください。クーポンはお1人様1枚限り有効。他のクーポンや特典との併用はできません。一部の店では無効。州消費税が適用されます。換金不可。ハワイ州内の参加バーガーキング店にてご利用いただけます。
©2011Burger King Corporation. All rights reserved. #37



有効期限：2015年12月31日

KING'S VILLAGE SHOPPING CENTER **餃子の王将** **COUPON**

ご注文いただいた餃子1人前を
無料サービス
さらにお食事は**10%引き**
(アルコール類を除く)

アルコール類を除く。餃子無料サービスは午後5時30分～7時30分の間に限り有効。クーポン1枚につき1グループ、又は1テーブルとさせていただきます。



有効期限：2015年12月31日

KING'S VILLAGE SHOPPING CENTER **餃子の王将** **COUPON**

ご注文いただいた餃子1人前を
無料サービス
さらにお食事は**10%引き**
(アルコール類を除く)

アルコール類を除く。餃子無料サービスは午後5時30分～7時30分の間に限り有効。クーポン1枚につき1グループ、又は1テーブルとさせていただきます。



有効期限：2015年12月31日

ミニマム\$2.50でオアフ一周ザ・バスの旅

ザ・バス52番と55番を乗り継げば、オアフ島を一周することができます。アラモアナセンターを起点に、ダウンタウン、ノースショア、東海岸と、全行程およそ150kmを4時間あまりでまわります。のんびり1日かけて、途中下車の旅を楽しもう！

Start!!

8:00AM

1、アラモアナセンターから出発

始発はアラモアナセンターの山側。まずは52番「Mililani-Haleiwa」のバスに乗り込み、ハレイワを目指します。バスはセンター海側バス停も通りますが、始発の山側から乗って座席を確保するのが長旅のポイントです。

9:30AM

乗り場：アラモアナセンター山側

2、ドール・プランテーションでひと休み

ドール・プランテーションで名物のパイナップル・アイス。ハワイらしいおみやげもここで。この周辺は赤土の大地に広大なパイナップル畑が広がり、圧巻の景色が味わえます。道の向こうにハレイワの海がせり上がってくるので、お見逃しなく！

降り場：ドール・プランテーション／アラモアナから約90分

10:30AM

3、ハレイワタウンを散策・ランチ

ローカルハワイの代表、ハレイワに到着！ ロコに人気のショップで買い物をしたり、名物のシェイプアイスの行列に並んでみたり。また、有名なシュリンプのプレートランチやメキシカンランチにいかが？ 2時間ほど遊んだら、次のポイントへゴー！

降り場：カメハメハ・ハイウェイ沿い各所／ドール・プランテーションから約25分

13:00PM

4、ノースのビーチでのんびり

ハレイワから先（カフク方面）へ向かうには、ハレイワ・ビーチ・パークで55番に乗り換えます。タートルベイまでの海岸線は、有名ビーチの宝庫。とくにバンザイ・パイプラインやサンセット・ビーチは華麗に波乗りを楽しむサーファーの姿がいっぱい。これぞノースの海！

降り場：海岸線ビーチ各所／ハレイワから15～20分

14:30PM

5、タートルベイでアフタヌーンティ

北の中継地、タートル・ベイ・リゾートで下車。広大な高級リゾートのカフェで、休憩しつつアフタヌーンティを。ホテルからカートに乗っていくゴルフ場のカフェがおすすめ！

降り場：タートル・ベイ・リゾート／各ビーチから30～40分

16:00PM

6、海岸線の景色にうっとり

ユーモラスな小島「チャイナマンズ・ハット」やカーテンのように迫り来るコオラウ山脈、どこまでも広がる太平洋…車窓からダイナミックなハワイを満喫！ なお終点のアラモアナまでは約120分ほどかかるので、タートル・ベイでトイレを済ませるのを忘れなく。

18:00PM

アラモアナセンター到着

オアフ島一周その1

オアフ島を一周できる市バスがある。52番バスと55番バスである。オアフ島の外周を忠実になぞるようなルートで、52番バスが時計回り、55番バスが反時計回りである。

サークルアイランド・バスといわれ、一周はなんと4時間。ハワイの市バスは2ドル均一である。一周には結構な時間がかかるが、逆にいえば、2ドルで4時間もバスに乗っていられるのである。

サークルアイランド・バスは52番、55番ともにほぼ三十分間隔。わりと頻りに運転されている。

さあ、これから、ちょっと時間がかかるがサークルアイランド・バスに乗って、オアフ島をのんびり一周してみよう。

オアフ島最北端のヒルトン・タートルベイ・リゾートのレストランで昼食をとり、午後はポリネシアン文化センターをじっくり見物する予定なので、時計回りの52番バスに乗ることにする。

ポリネシアン文化センターは広大な敷地に、ハワイ、タヒチ、フィジーなどポリネシアの島々の村を再現し、民族衣装を身につけた人たちのショーも行われるテーマパークみたいなどころである。

52番バス、55番バスとも始発はアラモアナ・ショッピングセンターの山側の駐車場脇である。ここのバスターミナルがほとんどの市バスの始発になっている。

サークルアイランドバスは、オアフ島を一周しようという観光客には絶好のバスだが、なにも別に観光客のために走っているわけではない。ローカルたちの生活密着の路線なのである。

乗客に観光客はほとんど見かけない。わざわざ4時間もかけてオアフ島を一周しようという観光客はそうはいないだろう。

52番バスが、サークルアイランドど表示してしずしず近づいてくると、なんとなくこれから夜行の東北本線に乗って青森まで行くような旅情をかんじる。ちょっとオーバーだけど。

52番バスはダウンタウンを通過し、ホノルル空港を越え、パールハーバーを通過して、北に進路をとる。

となりのおじさんが日本語で話しかけてきた。ハワイには日系何世とかの人がいっぱいいて、日本語が話せない人も多い。そんな人かと思っていた。おじさんは若い頃にハワイに移住して、それ以降まだ一度も日本を訪れていないとのことだ。

これからポリネシアン文化センターに行くと言うと、わたしの膝をぼんぼんと叩きながら、それはいいことだとしきりにうなずいた。

サーフィンだ、スキューバダイビングだ、ショッピングだと浮かれていないで、文化センターというアカデミックでなくもない場所に行くので、真面目な研究熱心な人と思ってくれたようだ。どちらかというとオアフ島一周がメインで、ポリネシアン文化センターはついでなのだが…。

おじさんはワヒアワという小さな町で降りた。車窓からながめただけでも、こじんまりとした落ち着いたいい町のようなのだ。

後日、ワヒアワを訪れた。大通りにも、脇道にも、一階建ての細長い木造の飲み屋や商店や民家が並んでいる。なんだか西部劇にでてきそうな古くてなつかしい趣深い町並である。アメリカ本土の南部の田舎町のようなものでもあった。行ったことないけど。

いいぞ、いいぞ、とうれしくなって、町をぐるぐる歩きまわった。

その2

サークルアイランド・バスはワヒアワの町を過ぎると、北へ進路をとる。

目の前一面にパイナップル畑が広がる。見わたす限りのパイナップルの海である。そこを一本の道が地平線までまっすぐのびている。

パイナップルは昔から気になっていた。あの堂々とした大きさとすぐれた造形美。緑の葉と黄と橙色の実の色彩の妙。そしてずっしりとした重み。いずれをとっても果物の王という貫禄である。

それなのに、値段は安いしどちらかというと味もあまりパツとしない。そのアンバランスさが気になっていた。

まだ幼くて純粹ですんだ目をしていた頃は、あの形状から当然そう考えるしかないように、ヤシの木のような背の高い木に、これまたヤシの実のようにてっぺん付近に五つ六つ、多いときは十数個もたわわに実るのかと思っていた。

多少年齢を重ねて、どうやら地べたになるらしいと思うようになったが、それでもどのようになるのかずっと疑問だった。

この機会に、是非ともその永年の疑問に終止符を打とうと、バスの車窓からパイナップル畑をくいいるように見つめた。

だが、バスはほとんどクルマの通らない一直線の道を猛スピードで快調にとぼし、地面から放射状にのびた緑の葉の上に黄色の実がなっているのは見えるが、その肝心の実がどのようになっているか、どうもあまりはつきりとはわからない。

隔靴搔痒というかんじである。頭をぼりぼり搔きたくなった。

パイナップル畑のど真ん中に、ドール・パイナップル・パビリオンがある。パイナップル関連の土産物が売られ、パイナップルはもちろん、いろいろなフルーツジュースも飲める。

よっぽどこで降りてじっくりパイナップルを観察しようかと思ったが、きょうはオアフ島の最北端のヒルトン・タートルベイ・ホテルで、海を見ながら昼食をとりたいし、ポリネシアン文化センターにもよらなければならない。

バスで一周するだけでも四時間かかるので、あまり時間的に余裕がない。残念ながら通過することにした。

その選択は誤りだったのではないかと今では思っている。このとき間近で見なかったばかりに、ほんのつい最近まで、パイナップルは店頭飾られているのと上下逆に、葉っぱの方が下向きで、実がなるのかと思っていた。

あの怒髪のような葉（クラウンという）がガクで、そこから咲いた花がやがてラグビーボールのような実になるのかと思っていた。

どうもいろいろ調べてみると、紫色のパイナップルのクラウンのようなかたちの花が咲き、その下にできた実がどんどん巨大化して、パイナップル本体になるようなのだ。そうすると、紫の花が緑色に変わってクラウンとして残るのだろうか。それに種はどうなっているのだろうか。パイナップルにはまだまだ疑問が多い。

サークルアイランド・バスは、まだ完全には解明されないパイナップルの謎を置き去りにしたまま、いよいよノース・ショアといわれるサーフィンに絶好のビーチが連続する、あの「ビッグ・ウェンズデー」の世界にさしかかる。

その3

サークルアイランド・バスはパイナップル畑を抜けて、小高い丘を越えると真前に海が広がる。ノース・ショアである。

ここからバスは、ノース・ショアの海沿いの道を気持ちよく爽快に突っ走る。車窓には、ハイレアビーチからワイメアビーチを経てサンセットビーチまで、サーフィンに絶好の大小のビーチが続く。

サーファー垂涎のエリアである。サーファーなら、バスから飛び降りたくなるだろう。わたしだって、飛び降りたいまではいかないが、ずりずりとずり降りたくなる。波をポケットとながめているのが好きだからだ。

時間なのか、時期的にサーフィンに適さないのかよくわからないが、波はそれなりに元気よく岸辺に打ちよせているが、サーファーはあまり見かけなかった。

今回はノース・ショアを車窓からながめるだけだが、中でもとりわけすごい波がくるワイメアビーチでは、ビッグウェイブをじっくりたっぷり見たことがある。

ワイメア・バレーに行った時に寄ったのである。ワイメア・バレーは古代ハワイアンの集落があった溪谷で、集落が復元され、数千種類もの南国の植物が植えられ、野生の鳥たちが放し飼いにされている自然歴史公園である。

ワイキキからの送迎シャトルバスで往復した。残念ながら無料ではないが、ついでにノース・ショアを見るのには手っとりばやくて便利である。

ワイキキから二時間ほどで、オアフ島の最北端にのヒルトン・タートルベイ・ホテルについた。時間も距離もちょうど真ん中あたりである。ここではじめてバスを降りる。

昼食をとる予定だったが、思っていた以上に高級リゾートホテルで、どうもTシャツと半ズボンで気軽にずかずかレストランに入っていくというかんじではない。

昼食はあきらめ、次のバスまで海岸にすわって海を見ていた。人影はほとんどなく、岩場にはさまれた小さな磯で、アメリカ人らしい若い母親と女の子が優雅に水遊びをしていた。

次に降りたポリネシアン文化センターは、ハワイ、タヒチ、サモア、フィジーなどのポリネシア諸島の古い村が水路沿いに再現されている。各ビレッジごとに伝統的な舞踏や音楽や、ヤシの木登りなどのアトラクションが行われている。船頭兼ガイドの案内をききながら、カヌーで各ビレッジをまわることもできる。

バスで一緒だった日本人のおじさんが言ったほどアカデミックとは思えなかったが、その分かえって遊園地みたいで面白かった。

ここはモルモン教徒によって運営されている。モルモン教は禁酒禁煙なので、園内では当然ながら酒が飲めない。これがなんとも残念だった。

ポリネシアン文化センターをでた頃にはすっかり暗くなっていて、東海岸のビーチはまったく見られなかった。

後日、東海岸を見るためだけにポリネシアン文化センターまで往復した。行きは山側の席にすわって、なるべく海側を見ないようにした。バカですねえ。

東海岸は波の穏やかな海水浴向きの海岸が多い。クアロア・パークは熱帯植物が生い茂る広大な自然公園で、ジェラシックパークが撮影されたところでもある。チャイナマンズ・ハットと呼ばれるかわいらしい帽子のような島が見える。

路線バスは海岸をはなれ、熱帯植物のトンネルを抜け、両側に間近に山がせまるパリ・ハイウェイをワイキキめざして快調にとぼしていく。